



Title	源氏香図パターン・ジェネレータの開発
Author(s)	塚田, 章
Citation	デザイン理論. 2025, 85, p. 94-95
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/100291
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

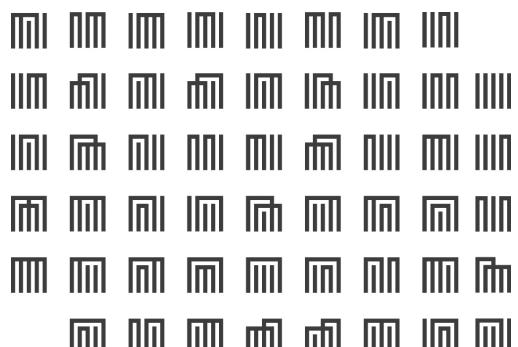
源氏香図パターン・ジェネレータの開発

塚田 章 元京都市立芸術大学

「源氏物語」はその千年の歴史の中で、単に文學という枠を超えて日本文化に様々な影響を与え続けている。その一つに「源氏香」がある。香道は日本独特の香りを鑑賞するための営みであるが、そこでは和歌や古典文学を題材にして、数種類の香木を焚きそれらの同異を判する「組香」と称される鑑賞方が行われる。「源氏香」はそうした鑑賞方の一つである。「源氏香」の香りの組合せを記述したものが源氏香図である。源氏香では5回にわたって香りを聞く（この聞くという表現は香道特有の表現であるが香りを嗅ぐと言わないところに、香道という営みの本質を認めることができる）。源氏香図は5種類の異なる香から重複を許して任意に5回選択し、順に聞き分けその組合せを参加者が当てるというゲームに由来する。香りの組合せの順番をパターン化したものが源氏香図であるが、52種類のパターンとなる。源氏香ではそれら一つ一つを源氏物語の巻之二から巻之五十三の52帖に対応させている。従って源氏香図は源氏物語の各帖を暗喩する記号として香道の世界だけに止まらず伝統的日本の文様として美術工芸領域で広く用いられている。しかしその殆どは何れかのパターンを意匠表現の要素として扱うに止まっている。本研究の目的は源氏香図52パターン全てを簡単な構造で速やかに生成する源氏香図パターン・ジェネレータを提供することであり、源氏香図に暗喩される源氏物語の帖に思いを馳せながら楽しめる装置として、香に関する製品、室内装飾の製品等への応用をめざしている。

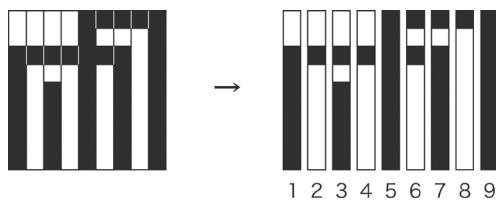
源氏香図

源氏香図は極めて単純な図形であり、文様としての完成度は非常に高い。5本の縦棒が右から番に聞いた香りを表している。5回聞く中で同一の香りのものどうしを横棒で繋ぐことで源氏香図は完成するが、複数本を横切って結ばれないように縦方向の長さを調整している。5回5種類の中から選択して並べる場合、単純に考えると5の階乗となって3125通りの組み合わせとなるが、源氏香では組み合わせのパターンのみを取り上げる。5回とも同じ香りであるとき、5種類の異なる香がある故、5通りということになるところを同一のパターンとして1つに数える。この様にして香りは異なっていてもパターンとして重複したもののは1つにまとめられる。その結果その組み合わせの数は52通りとなる。源氏物語の帖は54有ることから（桐壺）（夢の浮橋）を除いた52帖に対応させたパターンが振り分けられている。源氏香は古くは16世紀初頭の和歌集に記述されているが、今日の様に完成されたのは江戸時代初期とされる。



源氏香図パターン分析

源氏香図は単純な5本の縦棒(図)が基本となっている。それらに挟まれる部分(地)との関係を眺めると、源氏香図を縦方向に9領域の矩形に分割し、領域ごとのパターンを構成片9種それぞれに描き、組み合わせる事で源氏香図の全てが生成されることが予想される。

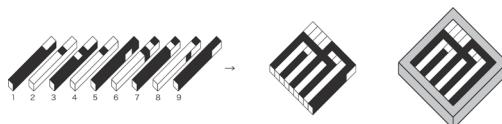


源氏香図52パターンは、上述の9領域の矩形それぞれのパターン変化によって生成されるが、このパターンを領域ごとに源氏香図52パターン全てにわたって調べると、変化は1領域の矩形につき4通り以下であることが解り、9領域それぞれの矩形ごとに必要とされるパターン群が確定された。

パターン・ジェネレータ

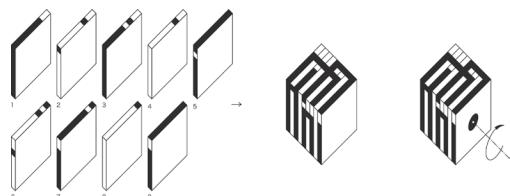
パターン・ジェネレータ9領域それぞれの矩形ごとに必要とされるパターンを速やかに置換しえる単純な機構とする方法はいろいろ考えられるが、1つの矩形に必要とされるパターンの最大数が4であることは直方体の4面に振り分ける場合に好都合となる。積み木パズルの様にパーツを組み合わせることで簡単にパターンを生成出来るからである。

- 棒状直方体での展開 棒状直方体である構成片の長方形4面にパターンを描き、構成片を転回させる方式によるパターン・ジェネレータ。

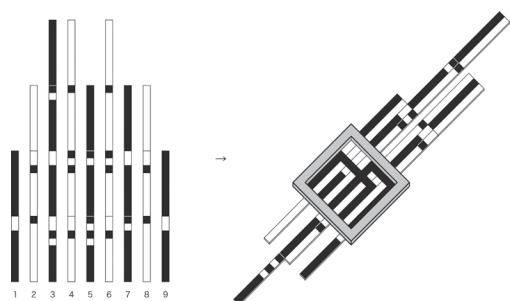


- 板状直方体での展開 板状直方体である構成片の木口4面にパターンを描き、構成片を転回させ

せる方式によるパターン・ジェネレータ。



- 帯状構成片での展開 帯状構成片9本にパターンを描き、構成片をずらす方式によるパターン・ジェネレータ。



パターン・ジェネレータの展開



今回のパネル発表では前述の構造をベースに試作された6種類の作品が展示された。これらの作品は、香りを日常楽しめる様に匂い袋を収納できる配慮が為されている。最新のものはカード式で使用環境に応じた選択ができる様に数種類のクレードルがデザインされた。

当初の研究目的である源氏物語の帖に思いを馳せながら楽しめる道具として求められる機能は満たされた。文化を楽しむ道具として広く受け入れられる事を期待している。